

2011年6月27日
トヨタ自動車九州(株)



工場品質世界No.1「プラチナ賞」受賞

～米国 IQS トヨタ自動車九州第2ライン～

米国市場調査会社「J.D. パワー・アンド・アソシエイツ」による2011年米国自動車初期品質調査SM（以下IQS）で、トヨタ自動車九州の第2ライン・第1ラインがそれぞれアジア太平洋の1位・2位（同率）となり、さらに第2ラインは世界1位（同率）のプラチナ賞の榮譽にあずかりましたので、お知らせいたします。

記

1、受賞 【工場/ライン別】

▽第2ライン（世界1位 同率 兼 アジア太平洋1位）

▽第1ライン（アジア太平洋2位 同率）

【車種別】

▽ES（セグメント エントリー・プレミアム1位）

▽RX（同 ミッドサイズ・プレミアム・クロスオーバー/SUV2位）

▽IS（同 エントリー・プレミアム3位）

【ブランド別】

▽レクサス（1位）

2、実績 過去、トヨタ九州は2000、2001年にプラチナ賞を受賞

3、ご参考 IQS：米国内で新車ユーザーを対象に購入・リース後3ヵ月の品質状態を聞き、不具合が少ない順にランキングしたもの

※ 調査結果詳細 <http://www.jdpower.co.jp/>

4、須藤誠一（弊社社長）コメント

『このほどプラチナ賞を受賞できましたのも、これまでご支持いただいたお客様、地域や行政および関係会社の皆様のおかげであり、厚く御礼申し上げます。今年には会社創立20周年の節目の年であり、10年ぶりの快挙達成に二重の喜びを感じております。落ち込んでいた生産活動もようやく上向き、全従業員とも今回の吉報に一層沸いております。今後も世界No.1工場の称号に恥じないよう、世界中のお客様に感動を与えられるクルマづくりを目指して精励してまいります』